

くるくるアニメーション

たいしやう
対象

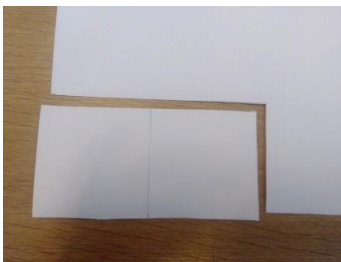
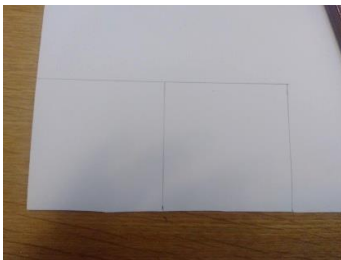
ねんせい
3年生～6年生

アニメーションはどのように作られているか知っていますか。アニメーションは、何枚もの絵を連続で早く見ること、まるで動いているように見える仕組みを使って作られています。パラパラまんがも同じ仕組みです。今回は、表と裏の2枚の絵をくるくる回してミニアニメーションを作しましょう。

ざいりやう どうぐ かみ がやうし かみ
【材料・道具】紙（画用紙でもいらぬ紙でもどちらでもよいです。セロハンテープ、ネームペン、ストロー1本、定規、ハサミ、えんぴつ



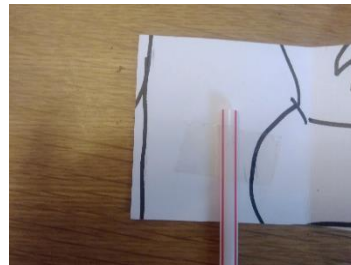
かみ じやうぎ せんち せんち しかく
①紙に定規ではかって、たて6 cm、よこ12 cmの四角をかいて、ハサミで切ります。



かみ おって まなか せん つく
②紙をおって真ん中の線を作ります。
みぎ ひだり
右と左に、アニメーションにしたい絵をネームペンでかきます。動いているように見える絵にするポイントは、1～2びよう後の様子をかくことです。



かみ ひだり
③紙の裏の、左がわにストローをセロハンテープではります。



③ストローのまわりに、丸めたセロハンテープを3つくらいはります。



かみ おもて まい え
④紙をおって、表と裏の1枚の絵になったら完成です。



- ⑤遊ぶ時は、ストローを両手ではさんでくるくと回して下さい。早く回したり、ゆっくり回したり、いろいろな速さで回してみましょう。



- ⑥「あまり動いているように見えないな。」と思ったら、②の動いているように見えるポイントがちゃんとできているかたしかめて、作り直してみましょう。かんたんに作ることができるので、アイデアがたくさんある人は、どんどん作ってみましょう。

絵が動く仕組みに気づき、絵が動くように見える2コマの絵の組み合わせを考えたり、試しながら作ったりする力が身に付きます。

